

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 11 日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23530472

研究課題名(和文) 企業の組織変革行動における阻害要因に関する理論・実証的研究

研究課題名(英文) The theoretical and substantial study of hindrance(resistance) factor in organizational change of business

研究代表者

松田 陽一 (Matsuda, Yoichi)

岡山大学・社会文化科学研究科・教授

研究者番号：20346406

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円、(間接経費) 660,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、「企業の組織変革行動における阻害要因に関する理論・実証的研究」というテーマで行ったものである。文献渉猟・アンケート・インタビュー調査を通じて、主に阻害(抵抗)に関する説明要因・プロセス・メカニズムおよびその除去方法に関する理論・実態について明らかにすることができた。インタビュー調査を通じて上記のインテンスな内容を明らかにすることができた。上記について、雑誌論文掲載、文献刊行を通じて公表し、さらに成果の一部を文献の分担執筆、新聞・雑誌投稿、台湾・中国の大学院での報告会、および研修・セミナーにて公表・講義・報告している。

研究成果の概要(英文)：This study is theoretical and substantial study of hindrance(resistance) factor in organizational change of business. It's research method is extensive range of the papers, articles, and books, survey and interview. So, it's result is below. First we can explain the theories and actual conditions in it's the factor, process, mechanism and removal method in hindrance phenomenon. Second we can show particularly matter about upper 1 and 2 through publication papers and book, and more, public share writing, contribute news paper and magazine, lecture and report at graduate school's workshop and seminar (in China and Taiwan).

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学

キーワード：組織変革 阻害 抵抗 チーム(医療) マネジメント

1. 研究開始当初の背景

本研究は、松田の他の諸研究でも指摘しているように、企業の現場では、組織変革を試みる際に、「...意識が変わらないと、うまくいかないなあ...」とか「...頭（意識）は変わっているのだけれど、行動がなかなかついていかない...」等の記述や発言が、よく見聞きされることに端を発している。つまり、企業は、その組織成果を向上させるために、いろいろな施策を行うのであるが、その際には、組織のダイナミックな変革という課題と同時に、従業員の意識や行動の変革というもう1つの課題をクリアしなければ、なかなかその成果があがらないという現実があり、そこには生起される阻害（抵抗）現象に対応していく必要があるということである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、企業の多様な組織変革行動において、そのプロセス上で直面する阻害（＝人々の変化への抵抗）要因について、文献渉猟、および企業を調査対象とした定量・定性的調査に基づいて理論的、かつ実証的に明らかにすることである。具体的な内容は、組織変革のプロセス上において、阻害要因の特定、その発生タイミング・メカニズム、その除去方法、なお、可能であれば理論的に考慮できる、組織変革に関する促進要因の探究を行うことである。そして、経常的に企業が抱え、直面しているこの課題について実践的な提言をすることが第2の目的である。

3. 研究の方法

学際的（主に心理学、経営学、社会学）な文献・論文の渉猟調査を行い、既存議論について、マクロ・ミクロ組織論、社会心理学、コンサルタント的議論の視点から整理した阻害（抵抗）の要因、メカニズム、除去（方

法）に関する具体的なデータとして、アンケート調査（下記(11)）、および企業勤務者15名を対象にインタビュー調査を行った。

4. 研究成果

学際的（主に心理学、経営学、社会学）な渉猟調査を行い、既存議論について、マクロ・ミクロ組織論、社会心理学、コンサルタント的議論の視点から整理したことである。

阻害（抵抗）の要因、メカニズム、除去（方法）に関する具体的なデータとして、アンケート調査（下記(12)）、また15名分の経験談をインタビュー調査から得ることができたことである。

除去方法の中で「チーム（医療）」に着目して、その有効性を共著としてまとめることができたことである（下記の図書）。これは、岡山大学大学院社会文化科学研究科組織経営専攻（通称、岡山大MBA）の社会人大学院の修士研究成果をも含んだ成果でもある。

同様な成果としては、教科書として、社会人院生と共著という形で公表している。なお上記以外に、研究成果の一部を台湾交通大学経営管理学院（曾芳文助教授）および中国 jinan 大学商学院（張彩紅助教授）の研究会・授業において、学部生・大学院生・社会人院生を対象にして発表している。山陽新聞連載、『おかやま財界』連載、研修（JA、吉井旅館）、セミナー（中小企業家同友会、株式会社クラブ）で報告・講演している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕（計5件）

(1)松田陽一「組織変革における抵抗に関するインタビュー調査の報告(3)」、『岡山大学経済学会雑誌』,第46巻,第2号, - 頁,2014

年10月(刊行予定),査読無。

(2) 松田陽一「組織変革における抵抗に関するインタビュー調査の報告(2)」,『岡山大学経済学会雑誌』,第46巻,第1号,89-132頁,2014年7月,査読無。

(3) 松田陽一「組織変革における抵抗に関するインタビュー調査の報告(1)」,『岡山大学経済学会雑誌』,第45巻,第4号,17-42頁,2014年3月,査読無。

(4) 松田陽一「組織変革における阻害に関する既存研究の概観(後)~要因・メカニズム・除去を対象にして~」,『岡山大学経済学会雑誌』,第44巻,第4号,21-40頁,2013年2月,査読無。

(5) 松田陽一「組織変革における阻害に関する既存研究の概観(前)~要因・メカニズム・除去を対象にして~」,『岡山大学経済学会雑誌』,第44巻,第3号,23-48頁,2012年12月,査読無。

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計1件)

(1) 松田陽一編・山本智子・川上佐智子・大月説子『組織変革マネジメントへの招待~抵抗の除去とチーム医療の活用』岡山大学出版会,2014年3月,265頁,査読有。

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

〔その他〕

(1) 北村美智子・松田陽一「企業グループにおける人材育成と異動のマネジメント~R社グループのケース」, 松田陽一・藤井大児編『リーディングス 組織経営改訂版』岡山大学出版会,2014年3月,91-116頁

(2) 柘野直樹・松田陽一「中小企業における事

業承継のマネジメント~B社のケース」, 松田陽一・藤井大児編『リーディングス 組織経営改訂版』岡山大学出版会,2014年3月,65-90頁。

(3) 松田陽一「企業の組織変革行動における抵抗に関するアンケート調査報告書」,2013年10月,未刊。

(4) 山陽新聞連載「岡山大学MBA 入門講座・営業について考える」2013年6月18日~同年7月2日(3回)

(5) 山陽新聞連載「岡山大学MBA 入門講座・人的資源管理論」2012年7月10日~同年8月7日(5回)

(6) 2012年3月にjinan 大学商学院・張彩紅助教授の「人的資源管理」研究会において報告。

(7) 柘野直樹・松田陽一「中小企業における事業承継のマネジメント~A社のケース」, 松田陽一・藤井大児・犬塚篤編『リーディングス 組織経営』岡山大学出版会,2012年3月,51-71頁(改訂版は43-64頁)

(8) 富田隆一郎・松田陽一「企業グループにおける人材育成と異動のマネジメント~R社グループのケース」, 松田陽一・藤井大児・犬塚篤編『リーディングス 組織経営』岡山大学出版会,2012年3月,27-49頁(改訂版は21-42頁)

(9) 『おかやま財界』連載「シリーズ現場力から考える」2012年11月20日号~2013年11月20日号の15回掲載。

(10) 2011年・2012年・2013年12月に台湾交通大学経営管理研究所・曾芳文助教授の「人的資源管理」研究会において報告

他に本研究の成果還元として、日本労務学会第全国大会・コメンテーター、日本経営学会全国大会・司会、研修講師(岡山県JA 研修講師、倉敷吉井旅館)、講演会(倉敷芸術

科学大学生命医科学科、岡山県中小企業同友
会同友会大学、クラブ(岡山)を行う

ホームページ等
なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松田 陽一 (MATSUDA YOUICHI)

岡山大学・大学院社会文化科学研究科・教授

研究者番号：20346406